

医療保険制度の将来構想と医療DX

シンポジウム「変化する社会と医療保険～健保組合の新たな挑戦～」

2024年3月4日

森田 朗

東京大学名誉教授・次世代基盤政策研究所 NFI

1. **はじめに** —— 国民皆保険制度と発足時の社会
2. **社会環境の変化** —— 人口構成・医療・働き方
3. **制度改革の方向（1）** —— 保険者機能の強化
4. **制度改革の方向（2）** —— 医療DXの推進

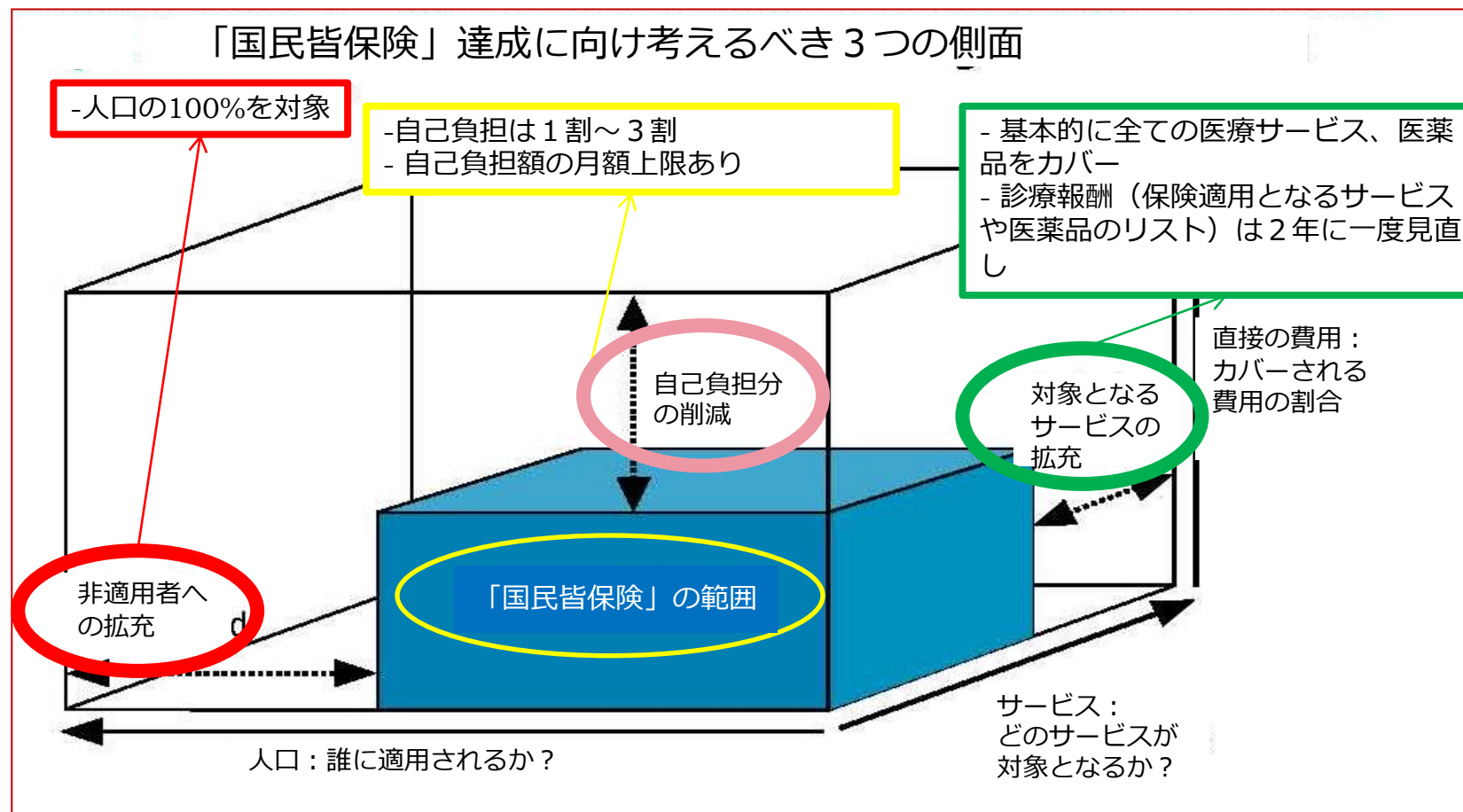
① 1961年皆保険、皆年金がスタート

② 当時の高齢化率

1960年 5.7%
2000年 17.3%
2023年 28.9%

③ 医療保険制度

「国民皆保険」の構造



① 人口構成の変化

—— 高齢者の増加、生産年齢人口の減少、家族構成の変化

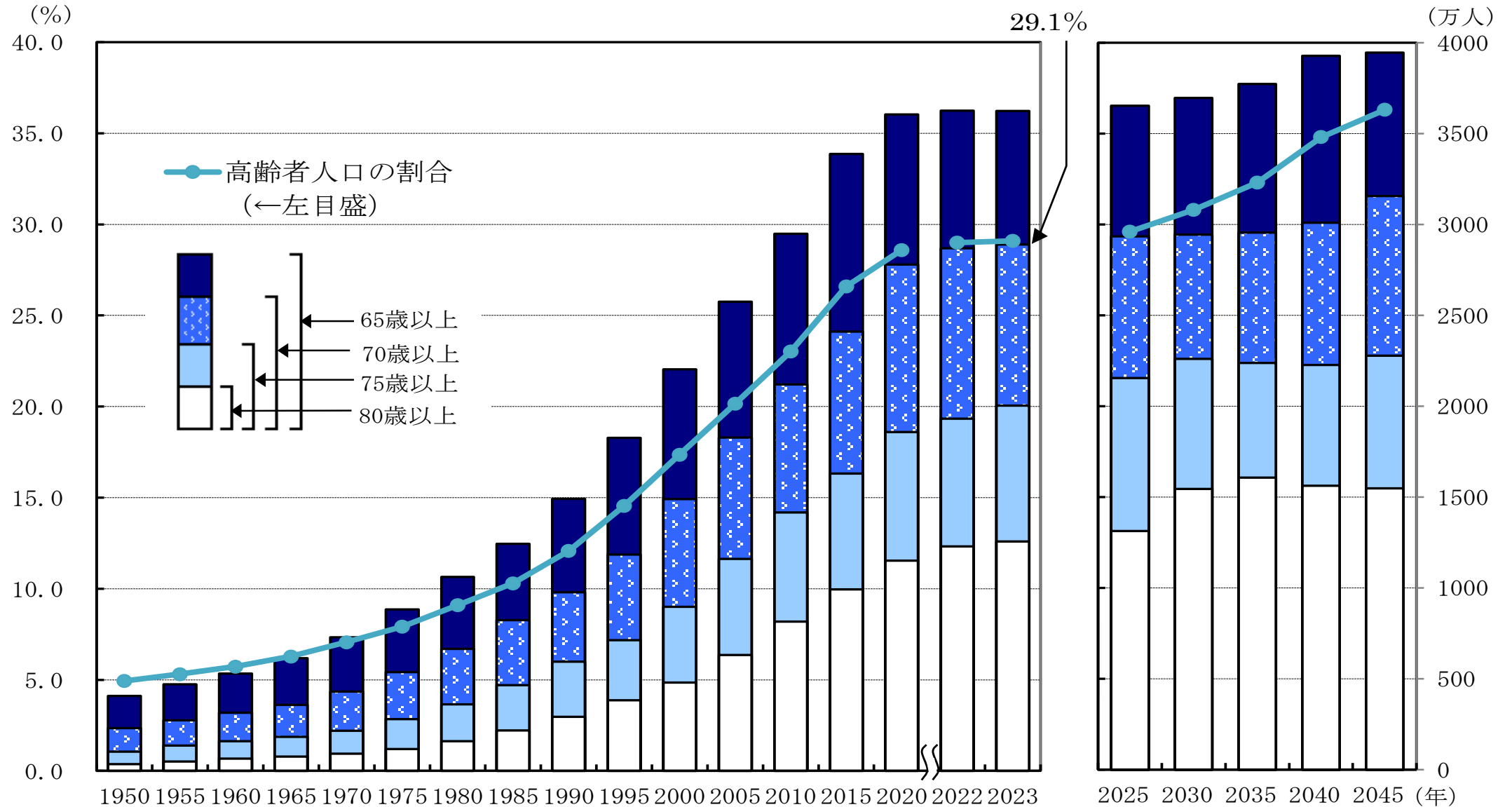
② 医療費（社会保障費）の増加

—— 技術の進歩、医療費単価の上昇、高齢化による医療需要の増加

③ 働き方の多様化

—— 共働き世帯等の増加、兼業・副業の増加

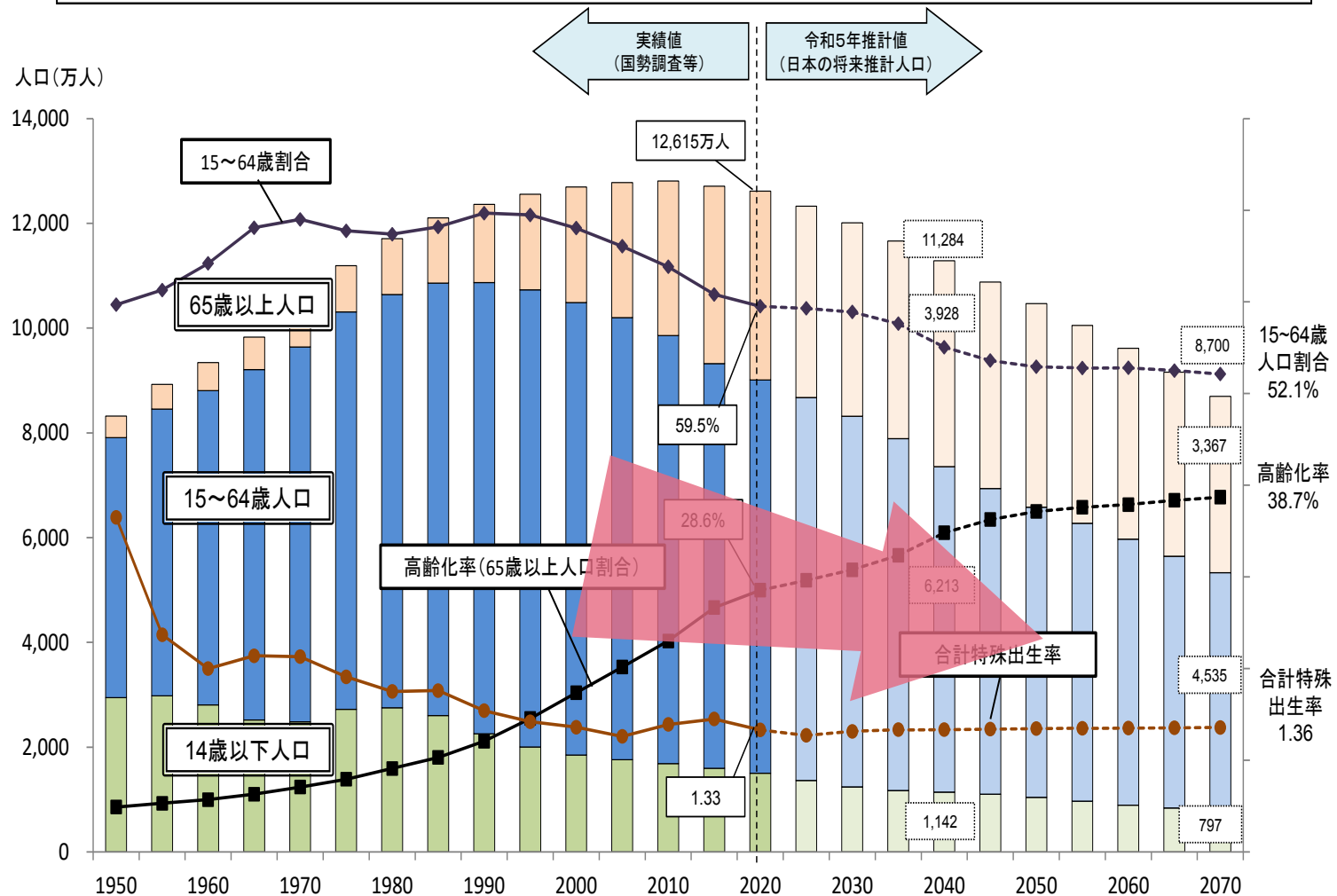
高齢者人口および割合の推移（1950年～2045年）



総務省資料 2023/09/17

日本の人口の推移

○ 日本の人口は近年減少局面を迎えている。2070年には総人口が9,000万人を割り込み、高齢化率は39%の水準になると推計されている。



日本の総人口

※《 》内は高齢化率

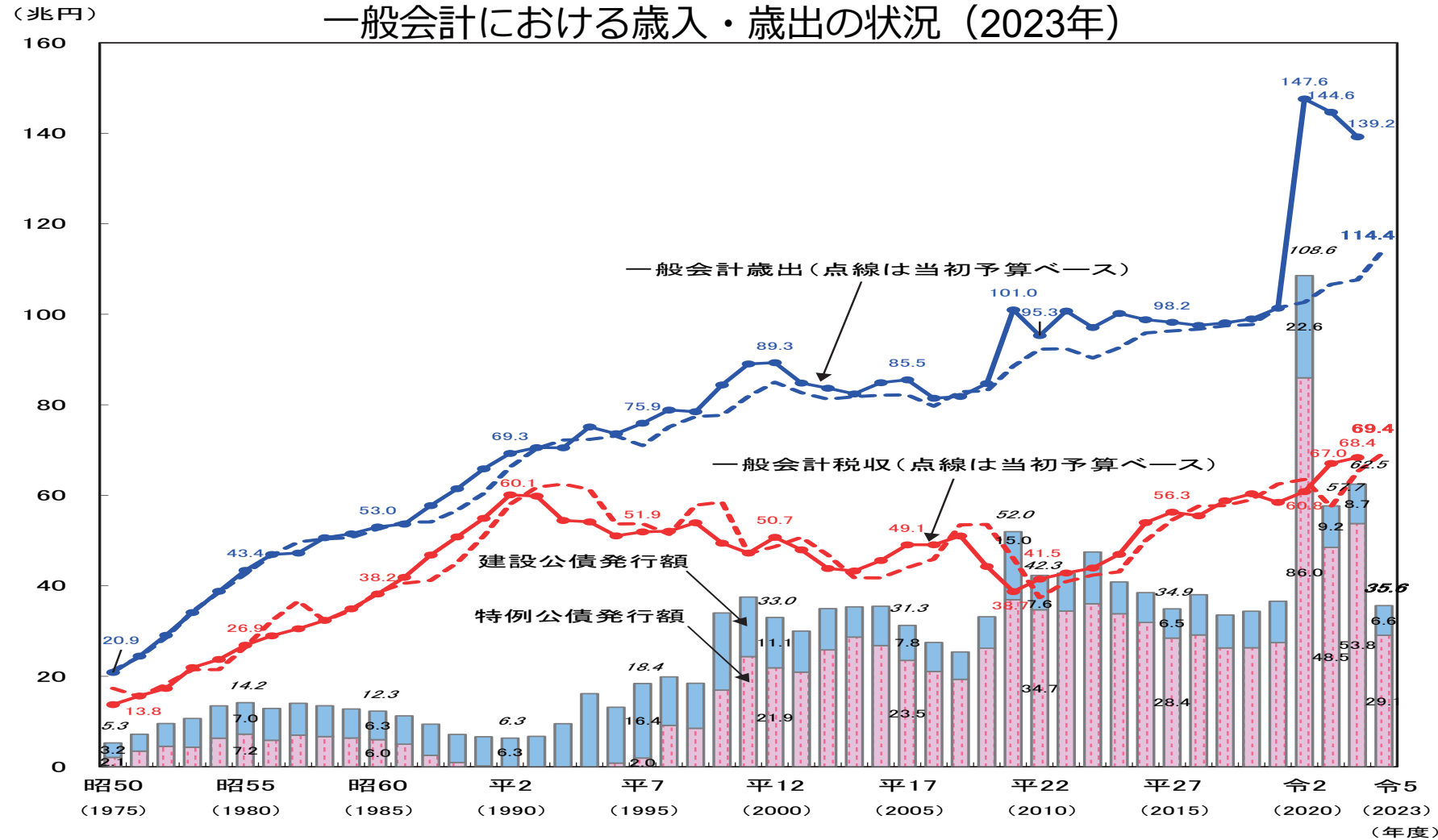
＜実績＞	＜今回推計＞	〔 前回推計 〕
2020年	2070年	
1億2,615万人	8,700万人	〔 8,323万人 〕
65歳以上人口	3,367万人	〔 3,188万人 〕
3,603万人	《 38.7% 》	〔 《 38.3% 》 〕
《 28.6% 》		
15~64歳人口	4,535万人	〔 4,281万人 〕
7,509万人		
0~14歳人口	797万人	〔 853万人 〕
1,503万人		

出生仮定を変えた場合の2070年の総人口、高齢化率

高位推計 (1.64)	9,549万人《 35.3% 》
低位推計 (1.13)	8,024万人《 42.0% 》

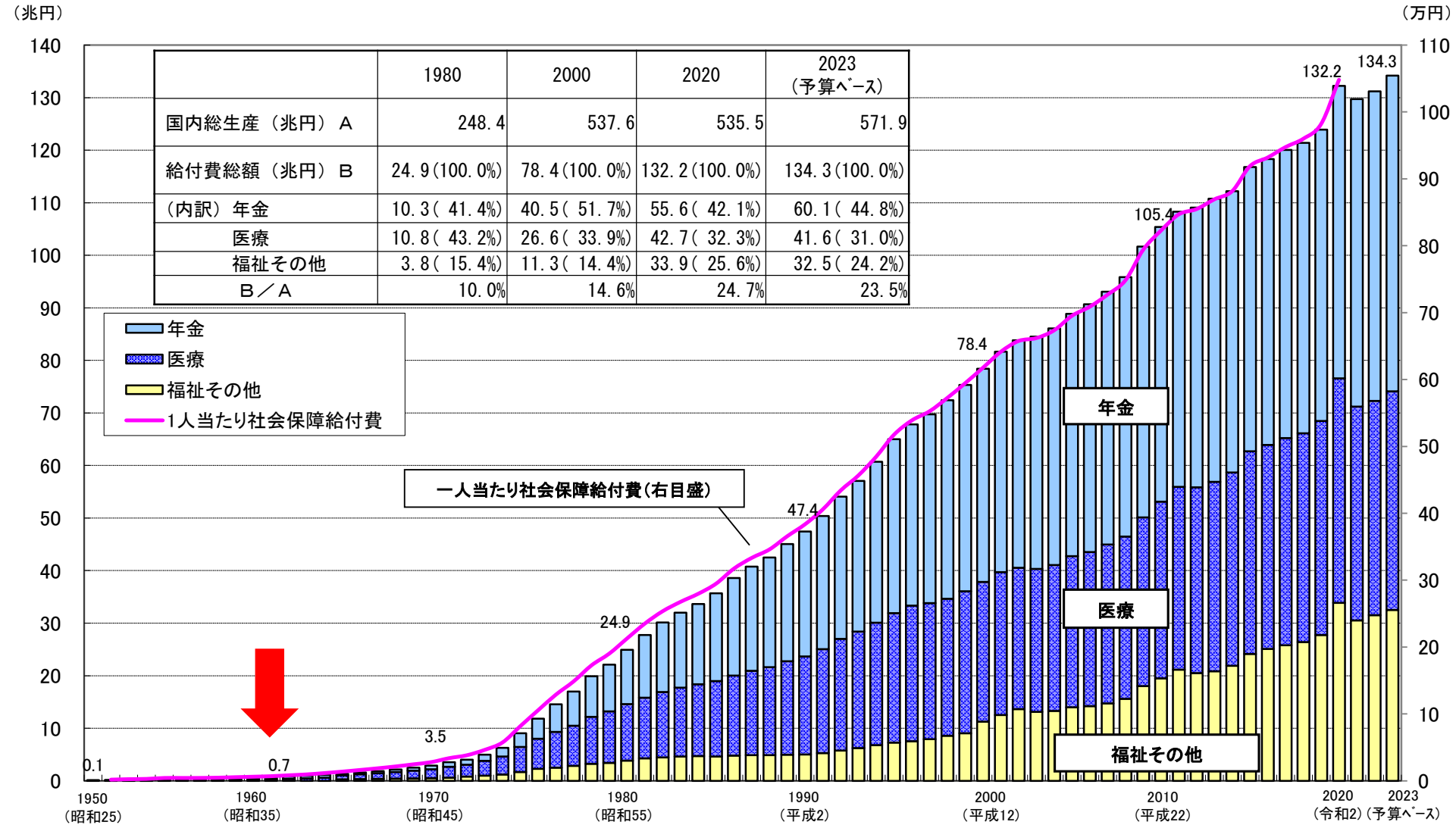
(出所) 2020年までの人口は総務省「国勢調査」、合計特殊出生率は厚生労働省「人口動態統計」、2025年以降は国立社会保障・人口問題研究所「日本の将来推計人口(令和5年推計)」(出生中位(死亡中位)推計)

2023年 厚生労働省資料



(注1) 令和3年度までは決算、令和4年度は第2次補正後予算、令和5年度は予算による。点線は令和4年度までは当初予算、令和5年度は予算による。
 (注2) 特例公債発行額は、平成2年度は湾岸地域における平和回復活動を支援する財源を調達するための臨時特別公債、平成6～8年度は消費税率3%から5%への引上げに先行して行った減税による租税収入の減少を補うための減税特別公債、平成23年度は東日本大震災からの復興のために実施する施策の財源を調達するための復興債、平成24年度及び25年度は基礎年金国庫負担2分の1を実現する財源を調達するための年金特例公債を除いている。
 (注3) 令和5年度の歳出については、令和6年度以降の防衛力整備計画対象経費の財源として活用する防衛力強化資金繰入れ3.4兆円が含まれている。

社会保障給付費の推移



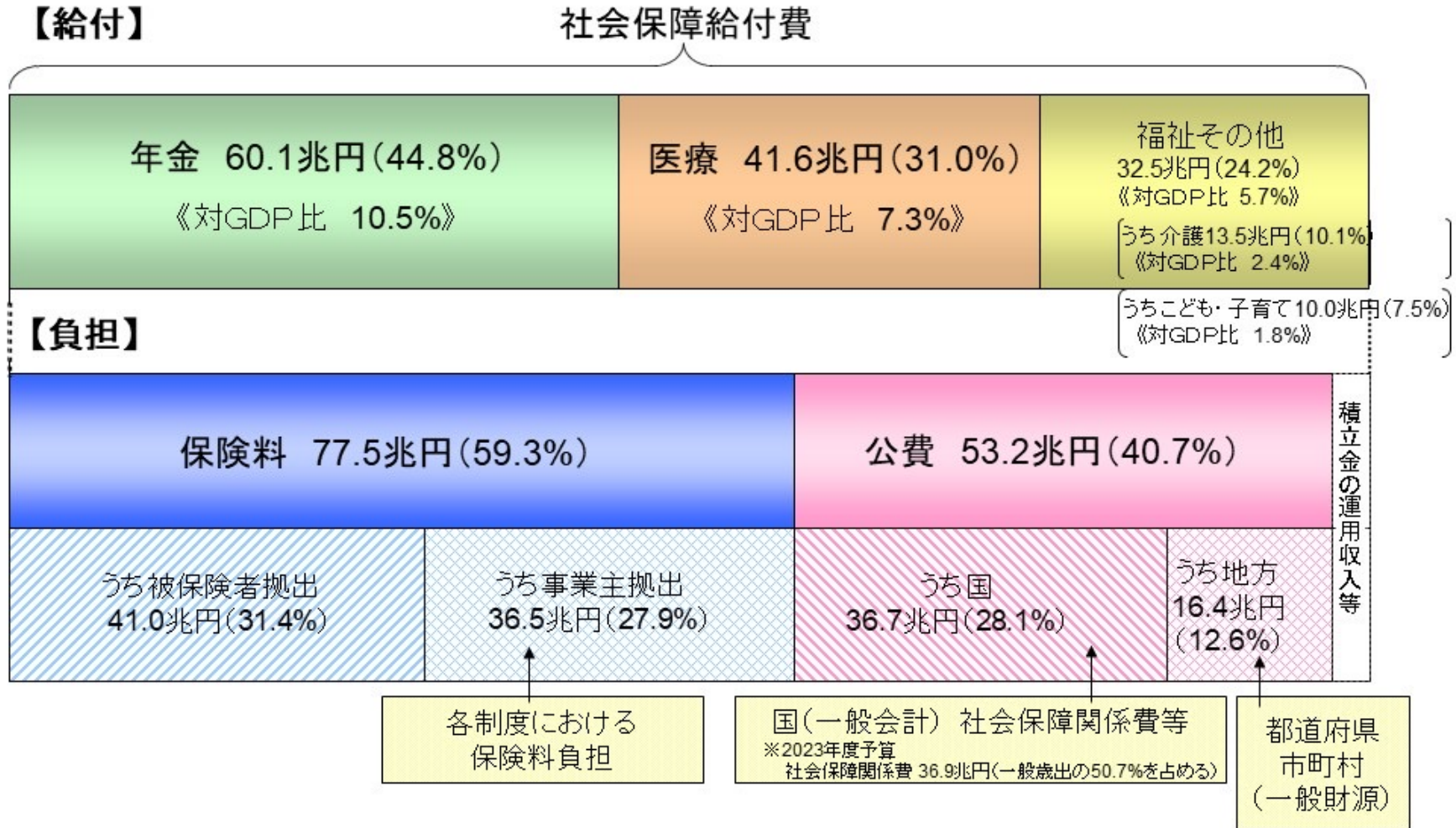
資料:国立社会保障・人口問題研究所「令和2年度社会保障費用統計」、2021~2023年度(予算ベース)は厚生労働省推計、

2023年度の国内総生産は「令和5年度の経済見通しと経済財政運営の基本的態度(令和5年1月23日閣議決定)」

(注) 図中の数値は、1950,1960,1970,1980,1990,2000,2010及び2020並びに2023年度(予算ベース)の社会保障給付費(兆円)である。

社会保障の給付と負担の現状(2023年度予算ベース)

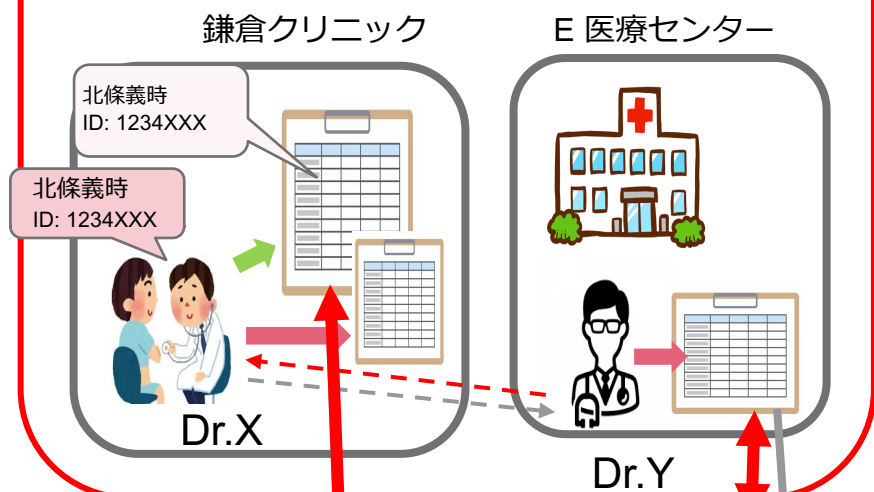
社会保障給付費 2023年度(予算ベース) 134.3兆円 (対GDP比 23.5%)



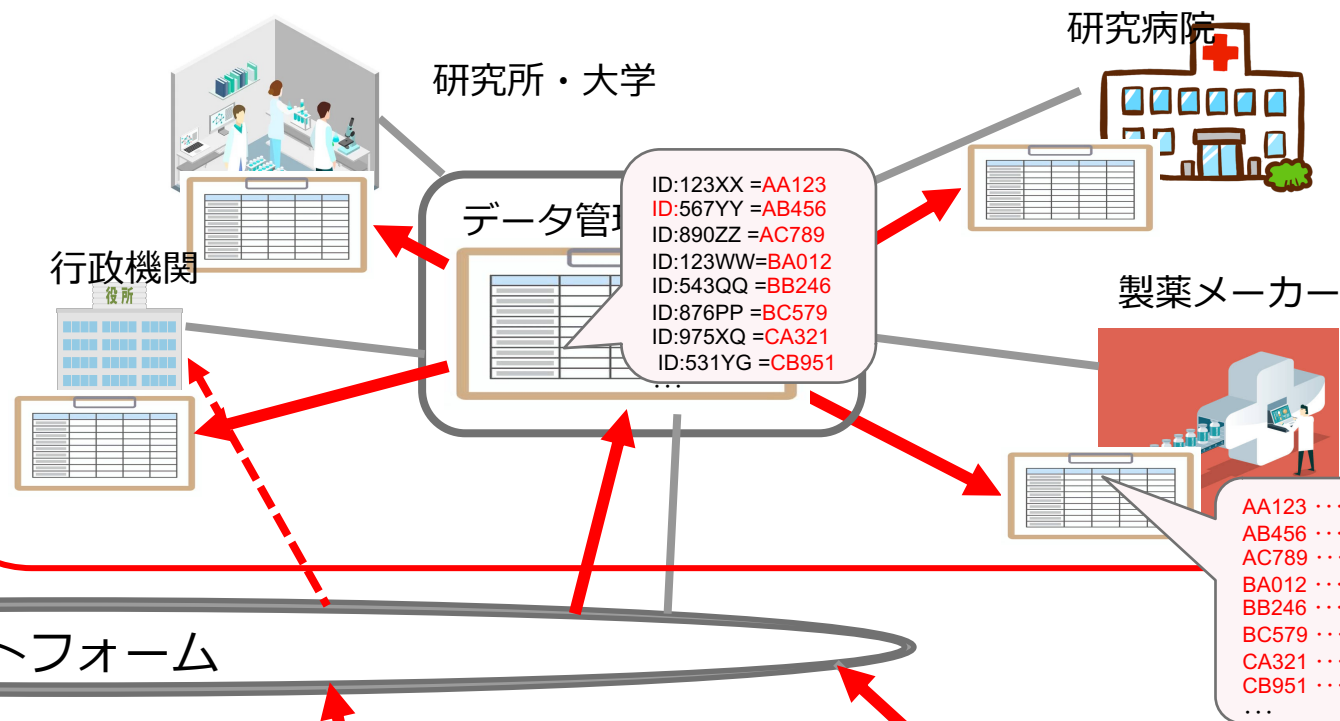
- ① **医療費負担の適正化**
—— 保険収支の改善、保険でカバーする範囲の限定
- ② **総合的な健康管理**
—— 予防医療、かかりつけ医の活用
- ③ **多様な労働者の包摂**
- ④ **医療保険制度、保険者の再編**
—— 保険者の統合再編？、後期高齢者医療制度

- ① 全国民についての**出生から死亡までの電子健康データ**の蓄積——D B
 - ✓ 各国民の治療の質の向上・健康管理のための健康データの活用〈**一次利用**〉——P F
 - ✓ 的確な医療政策の策定、医学研究、医薬品等の開発のためのデータ利用〈**二次利用**〉
- ② 多様で流動的な社会における公正で効率的な**医療需給**の把握
 - ✓ データに基づく医療の適正化・効率化・医療資源の最適配分
- ③ **医療DXの推進に関する工程表 2023年6月**
 - ✓ EUにおける**EHDS構想**（European Health Data Space）
 - ✓ 必要な**国民の理解**と十分な説明が必要——**Data save lives!**

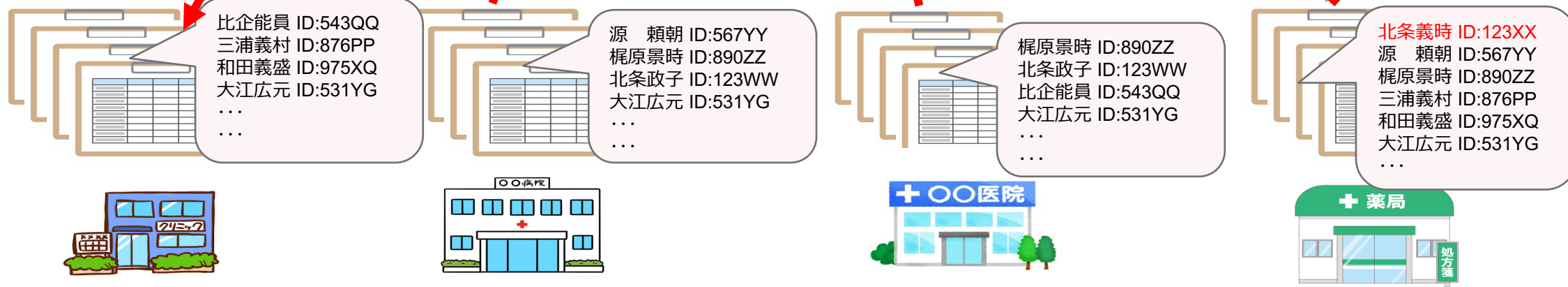
＜一次利用のケース＞



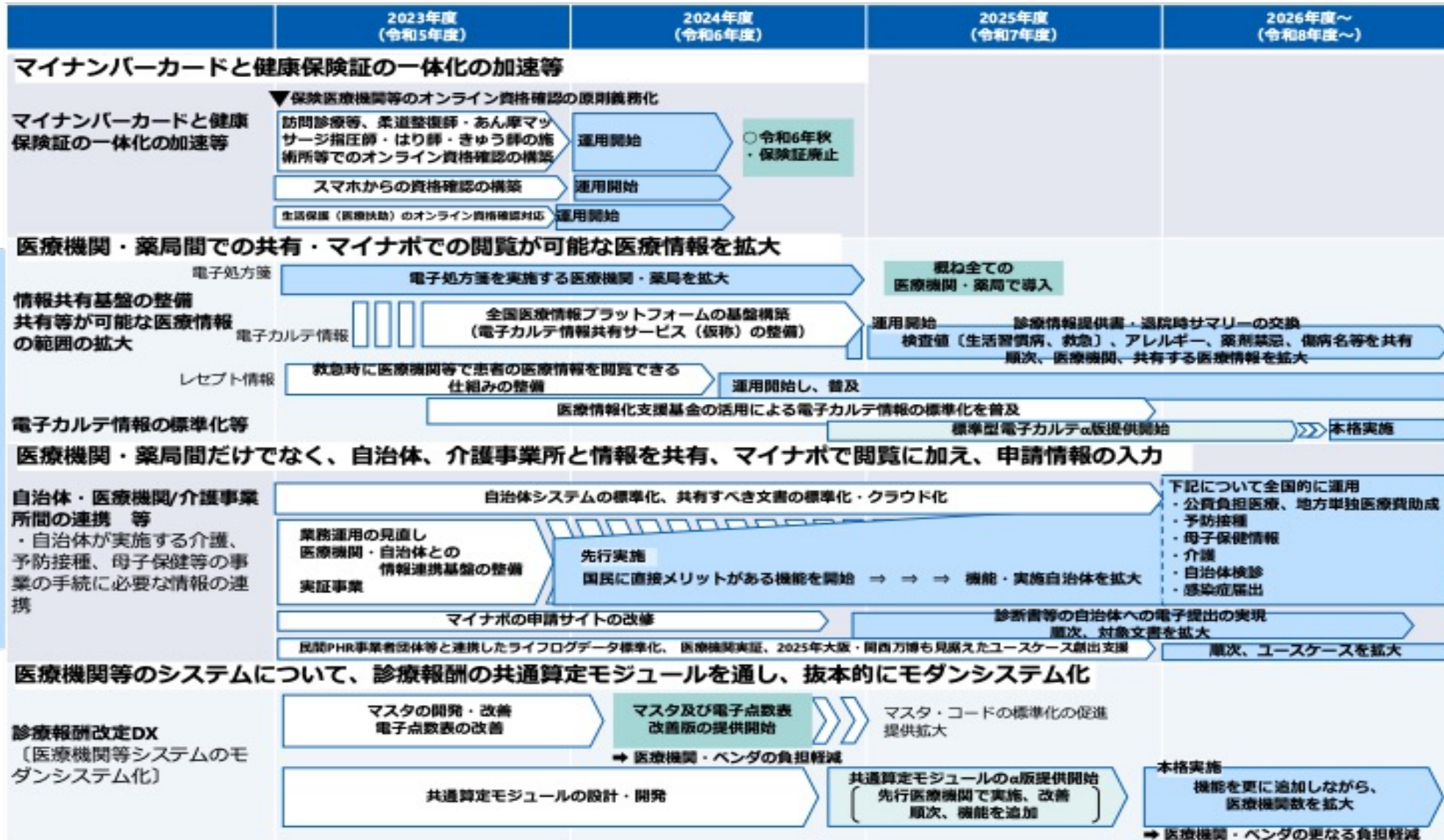
＜二次利用のケース＞



プラットフォーム



全国医療情報プラットフォームの構築

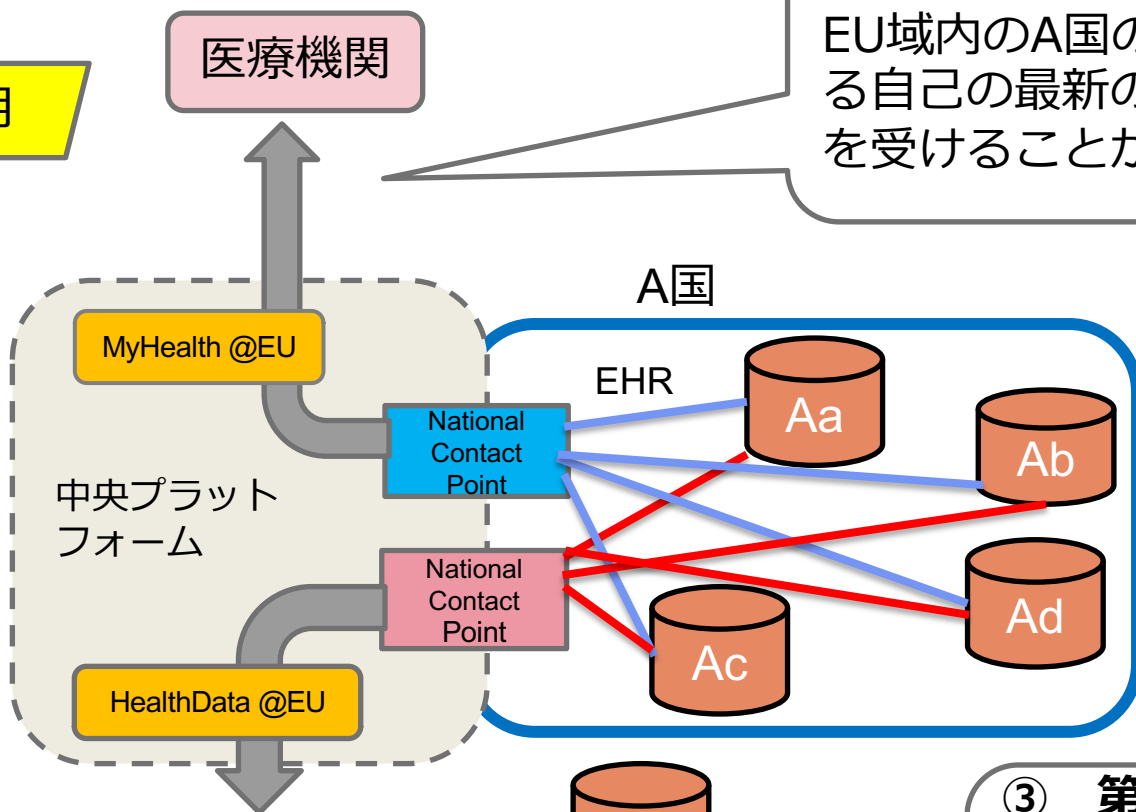


医療DX推進本部
2023年6月2日

EHDSのイメージ：1

1次利用

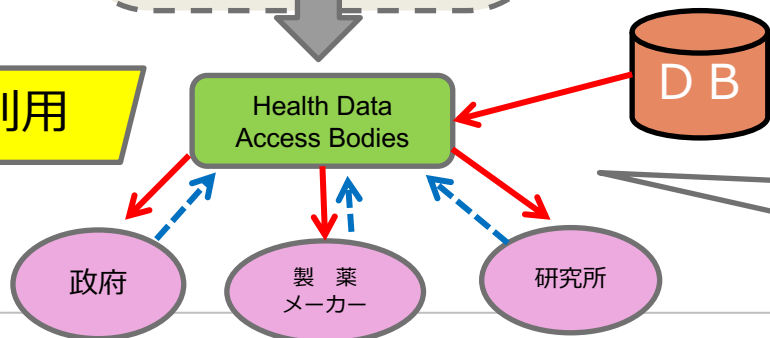
医療機関



② 第2章：<1次利用>国民・医療従事者の権利と義務
EU域内のA国の住民は、域内の他国においても、A国にある自己の最新の健康データにアクセスしてよりよい治療を受けることができる

① 第3章：EHRの規格
EUが定める規格を満たしたEHR (Electronic Health Record) システムに住民の健康データを格納

2次利用



③ 第4章：<2次利用>ガバナンス
研究所、製薬メーカー等ビッグデータの利用者は、**Health Data Access Bodies** に一定の加工をしたデータ利用を許可されて、データへのアクセスが認められる。

